

# 事業評価シート（平成24年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	美術教育の普及・体験事業(24年度事業名:美術教育普及活動推進事業)		
事業担当	社会教育部 美術館		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②<感性> 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'03	3 幅広い芸術・文化活動を普及・促進する	
根拠法令等			
対象・受益者	来館者	事業期間	
委託、協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働: 】		
目的・目標		事業の概要	
小中学生や親子を対象としたワークショップメニューを充実することにより、参加者が増加しています。		美術教育普及活動を推進するため、ワークショップを開催します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	ワークショップ等開催回数				単位	回
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	40	30	30	30		
	実績	33	32	41			
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	ワークショップ等参加者数				単位	人
	説明・算定式	短期コース参加者数					
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標	1050	800	800	1000		
	実績	874	1244	1072			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①: 予定どおり						
	遅れている理由						
平成24年度の主な取組と成果							
ワークショップのメニューに展示会の関連事業を取り入れて41回の講座を行った結果、親子対象の講座はどれも好評でした。中でも、子育て支援プログラム(赤ちゃんアート等)は計4回で192人の参加がありました。							
平成24年度の検証結果	A: 成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	メニューによっては希望者が殺到し、要望に応えるため回数を増やしました。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	美術教育活動への参加意識が強いため、メニューを充実させ、事業を継続して成果を上げました。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	美術教育の普及促進と実践をするためにも必要な事業です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	近隣の若手芸術家等を活用した講座を行いました。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		小中学生・教員向けのワークショップを充実させる等、ワークショップの魅力を向上させる必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 予算額
事業内容		ワークショップ、アートフェアの開催	ワークショップ、アートフェスタの開催	キッズアート等のワークショップの開催	キッズアート等のワークショップの開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	400	1,302
	一般財源	1,533	1,430	1,339	1,478
事業費 (A)		1,533	1,430	1,739	2,780
執行率 (%)		88.87	87.73	88.77	
内訳	職員 (人)	1.25	1.25	1.15	1.10
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		10,324	10,130	9,218	8,743
フルコスト (A+B)		11,857	11,560	10,957	11,523

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成26年度の取組方針	収蔵作品を活用するアートカードの作成とスクールプログラムの充実に努めます。
課長コメント	所蔵作品を活用したアートカードの作成と俳句等のワークショップで収蔵品に親しむ美術教育を行います。